

# ロシアはウクライナへの軍事侵攻をやめろ!

## “戦争反対・核戦争反対” “平和をつくろう”

2月24日(2022年)に突然ウクライナへ軍隊を侵攻させたプーチンロシア。

アメリカを中心とする新自由主義の資本主義社会の進展と、NATOという米国軍事ブロックに入っていきたいとするウクライナの国の有り様にいらだっているとはいえ、ロシアが“独立国家ウクライナ”へ軍事侵略することは許せません。

軍事侵攻に踏み切ったプーチン大統領はついに“戦略核兵器の使用”までちらつかせ始めました。「核戦争に勝者なし」と今年1/3にNPT(核不拡散条約)の核保有5か国として宣言したのにはです。

軍事侵攻が第三次世界大戦になってしまうのでは…多くの市民が全世界で「NO!WAR・戦争反対」の声を上げています。

「九条守れ・総がかり行動実行委員会青年PT」が主催して3/4 ロシア大使館に向かって“戦争反対” “今すぐ撤退” “核の使用絶対反対” “核戦争反対” “侵略反対”と声を上げました。

寒空の下500人ほどの市民が路上に集まり(18/:30~19:30)反戦・平和の願いを訴えました。ロシア大使館200m手前で止められ、大使館前では5人ずつの抗議行動。ふじしろ政夫も5人の行動に参加。ロシア国旗のたなびく大使館前で2~3分「戦争反対」「核使用反対」の声を上げました。

ロシアのウクライナへの侵攻を機に、戦争の恐怖と不安なか日本では「核兵器の共有」が言われ始めました。安倍元首相、日本維新の会です。日本の国是「非核三原則」を否定し、米国と核兵器を共有しようといひ始めたのです。世界で唯一の被爆国日本の市民として許せません。

又「武器輸出禁止」が緩和されてるとはいえ、政府はウクライナに“防弾チョッキやヘルメットの軍事装備品”を送ると決定しました。軍事的にウクライナに介入するのはいくら善意とはいえ日本国憲法9条に反します。“国際紛争の解決のため”に武力・軍事・戦争することを禁じた平和主義を壊していく決定です。

ウクライナ難民を積極的に受け入れ、非軍事の領域での支援、戦争をやめさせるための外交力の発揮こそ日本がすべきことです。戦争に勝者なしの観点から「武力で平和は創れない」「戦争反対」の行動をとっていきましょう。

“全世界から戦争反対の声を上げましょう。全世界の国家・市民が停戦の実現に向け努力しましょう。”

### 平和・核廃絶に向けたフォーラム(3/5 オンライン会議)で、

川崎哲さんはNPT検討会議、核兵器禁止条約締約国会議が開かれる予定であった核をめぐる状況を語りながら、ロシアのウクライナ侵攻、そしてロシアのプーチン大統領



領が「核兵器の使用」も脅しとして語り始めた状況の危険性を訴えました。

ロシアのウクライナ侵攻には二つの危機があると語りました。①人道上の危機：日々の報道にもあるように多くの市民が砲弾の下逃げ惑い、国を追われている状況はまさに人道上の大きな危機です。②国際関係の危機は：i) 国の主権・領土が武力によって侵害されている状況は国連憲章のルールが崩されている。国連憲章上「武力の行使」は原則禁止であり、ロシアの行為はどのような理由があっても国連憲章違反・侵害です。ii) 米ソ冷戦が終わったのにその後も“東—西冷戦構造の緊張”が戦争に発展している危機。NATO は米ソ対立時の対ソ軍事ブロック。ソ連崩壊後旧ソ連圏の国々が NATO に入り“軍事ブロック NATO の東方拡大”はヨーロッパにおける大問題になっていた。だからウクライナ問題は NATO 対ロシアの全面戦争の問題・危機として考えなければ・・・と。

又、プーチンがみづから「核戦争に勝者なし」というのに係わらず「もし他国が介入したら核兵器を使う」かのごとき脅しをかけているので、地球最後の時間まであと「1分40秒」になっていると危険な状況を訴えました。



昨年1/22に効力を発効した「核兵器禁止条約」は NPTと補完関係だと指摘。核兵器は非人道的武器であり国際法上禁止されたもの。それ故条約では核兵器の製造・保持・使用を禁止し、更に核兵器への援助・奨励に当たる“核の傘”も禁止しています。

日本政府は非核三原則は守ろうとしています。核の傘を必要とする立場から核兵器禁止条約に反対しています。川崎さんはせめて今年開催される核兵器禁止条約締約国会議にオブザーバーとして参加して欲しいと訴えました。

にもかかわらず安倍元首相は「核兵器共有論」まで言い始めている。ロシアのウクライナ侵攻で「力には力を!」の雰囲気が広がっている中での暴言。

世界には南米・モンゴル・アフリカ・中東などに“非核地帯”があるがヨーロッパは非核地帯を宣言していません。だからNATO の東方拡大は核の恐怖の問題がでてくる。“戦争は不法・不正義、核兵器は違法という国際法の秩序と正義”を実行・実現させていく必要があると、今回のウクライナ状況への問題の有り様を指摘しました。

広島元市長秋葉さんは「核兵器を絶対に使うな」とプーチンに訴えるべきと。核兵器被害の実相を伝え、核の先制不使用を保有国に宣言させ、核兵器禁止条約を全世界に広げていこうと語りました。

ウクライナ問題について、INF(中距離核戦力全廃条約)条約の廃棄(トランプ大統領)によってヨーロッパからロシアへ核ミサイル攻撃が可能になってしまった状況なども、核兵器禁止・全廃にむけた方向性の中で考えていく点と指摘しました。

核兵器全廃に向け、全世界の平和を実現するために、私たち一人ひとりがみづからの平和主義が試されているのです。

ロシアの軍事侵攻に抗議する!今すぐ撤退! 戦争反対!

\*「民主主義と自治そして平和主義」ふじしろ政夫 047-445-9144